

平成25年高野町成人式

祝 新成人おめでとう



上段 山口 昌敏 梶部 雄太 目黒 照典 林 悠斗 中西 洋貴 秋山 宗之 負門 直樹
下段 西田亜希穂 山岸恵利子 杉原 亜衣 西辻 彩乃 竹本 綾奈 倉本 璃奈 堀畑 依里

成人式出席：男子7名 女子7名 計14名
実行委員：堀畑依里・西辻彩乃・目黒照典
司会：堀畑依里・西辻彩乃
成人の誓い：目黒照典

また、新成人を代表し目黒照典さんが、これまで支えてくれた方々や地域への感謝の気持ちと、よりよい社会を築くため一人一人が与えられた役割を出来る範囲の中で行い、また世界遺産高野山という素晴らしいふるさとの歴史・自然を大切にしたい次世代に伝えていく思いと、新たな決意を新成人の誓いとして熱く述べてくれました。式典終了後には、恩師からのビデオレターを見て当時を思い出し、久しぶりに会った級友達との再会に終始笑顔が絶えず和やかなうちに今年の成人式が終了しました。

今年の成人式も新成人自らが企画・運営を行う実行委員会形式で行われ、式典の進行役として実行委員の堀畑依里さん、西辻彩乃さんが司会を務めました。
自己紹介では、ひとり一人が将来の夢、家族への感謝の気持ちや、ふるさと高野町への思いを語ってくれました。会場に来ていた御家族の方も成長した子どもの姿に頼もしく感じられたことと思います。

去る、1月13日(日)中央公民館において平成25年成人式が行われました。本年の新成人は31名(男子15名、女子16名)で、成人式には14名(男子7名、女子7名)の新成人が出席し、人生の大きな節目を迎えました。



■紀三井寺公園補助陸上競技場、県庁前まで10区間(21・1km)

和歌山県市町村対抗ジュニア駅伝競走大会

高野町ジュニア駅伝チームメンバー

高野山中学校3年生	田中亮	権
高野山中学校2年生	佐藤百	花
〃	林沙	耶
〃	堀田江	理
高野山中学校1年生	門谷雅	也
〃	大森光	龍
〃	伊藤美	空
〃	田輪愛	紗
高野山小学校6年生	今西陸	生
〃	植木真	蓮
〃	佐々木	主
高野山小学校5年生	林主	鷹
〃	大森奏	子
〃	西川詩	莉

2月17日(日)午前11時スタート!!

本年も、和歌山市で開催される「第12回和歌山県市町村対抗ジュニア駅伝競走大会」に本町の小学5年生から中学3年生までの10名(10区間)が高野町の代表として出場します。

総勢14名で、厳しい寒さの中、昨年度の高野町新記録を少しでも上回れるように一生懸命練習に取り組んでいます。

高野町の代表として、タスキをつないで走る子どもたちに、町民の皆様からのご声援をよろしく願います。

わたしの目標



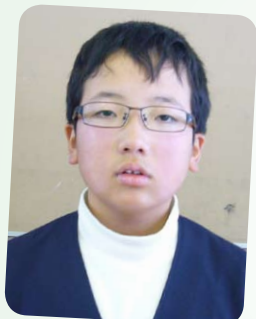
高野山小 5 年 中島 未夢

わたしは、走ることが得意ではありません。なので、走ることを得意にしたいと思いました。

まず、走ることを得意にするなら、練習が必要だと思います。でもわたしは、「やっても無理だろうな。」と考えてしまうのがいけないと思いました。物事は、自分から積極的に取り組むことが大事だと思います。今まであきらめてきたことも積極的に取り組めば、きっとできるはずだと思います。

今までマラソンは、最後の方でした。だから、練習をして、いい順位になれたらいいなと思いました。これからも、走ることを目標にがんばりたいと思います。

今年の目標



高野山小 5 年 小西 利樹

ぼくは今年、少年野球と勉強をがんばろうと思います。

少年野球では、最高学年としてチームを引っ張らないといけないので、練習に行ける日なら、必ず行きたいです。ぼくの守備位置はピッチャーで、打順は 4 番を打っています。「エースとしてチームを引っ張れ。」

と、かんとかに言われたので、がんばって練習していきたいです。

勉強は、算数が苦手なので算数をがんばります。そして、野球や勉強を通して多くの人々と関わりあえたらいいなと思います。

最高学年になったら



高野山小 5 年 西川 詩莉

今年は、わたしが生まれて干支の 1 周目です。今は 11 才なので、6 年生で 12 才をむかえます。今年は最高学年の 6 年生なので、最高学年になったら、ある目標を作りたいと思います。

まず 1 つは、言葉づかいに気をつけることです。私はいつも、言葉に気をつけなさいと言われていたので、まずそれをなおせるようにしたいです。

第 2 の目標は、「高学年らしく」です。今年は高学年らしく、どうとうと、責任感を持ち、頼られるような存在でいたいです。

そして、第 3 の目標は、やさしい心を持つことです。小さい子や高れい者の人、同級生をはじめに、気づかいの心をもって接したいなと思っています。特に小さい子にはやさしくしたいと思います。理由は、もし 1～2 年生にやさしくしたら、その子が 6 年生になったとき、そのときの 1～2 年にやさしくするようになると思うからです。

小学校を卒業するまでには、この 3 つの目標をがんばりたいと思います。

今年の目標



高野山小 5 年 中島 央翔

ぼくのやりたい目標は、三つあります。まず一つ目は漢字検定五級に合格することです。なぜなら、今まで漢字検定を受けてきて、勉強した事が役に立って楽しいと感じられたからです。それにぼくは国語の授業が好きで、その中でも漢字の勉強が一番好きだからです。

二つ目の目標は、習字八段です。ぼくは、三年ぐらい前から習字を習いました。けどまだ字がうまく書けなく、段もそれほど持っていないからです。その八段をとるにはいっぱい練習する必要があります。なので、その八段になるために、練習をいっぱいしようと思います。

三つ目の目標は、野球でレギュラーを取ることです。なぜなら、ぼくはまだ野球がうまくなくて、試合にもあまり出る事が無いからです。この三つの目標をかなえるためにがんばりたいです。

夢



高野山小 6 年 植木 真生

ぼくには、一つの夢があります。それは、プロ野球選手です。ぼくが、なぜプロ野球選手になろうと思ったかというと、五年生の秋ごろです。友達にさそわれて、以前あった野球クラブをみんなで復活させました。そして部員を集めて、本格的な活動が開始されました。六年生はぼくを入れて、三人でした。毎週三回の練習を行い、試合が出来るまでになりました。勝った数は少なかったのですが、野球の楽しさというものを

知ることが出来ました。ぼく達六年生は十一月十一日の最後の試合を終えて、引退しました。が、中学校や高校でも、野球を続けていきたいです。

そして、プロ野球選手になって、あの有名な「イチロー」を超えて「ジロー」と名をとどろかせたいです。自分の将来が楽しみです。

一球入魂・チームワーク・先手必勝・闘争心を大切に。

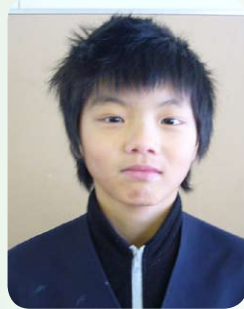
今年の目標



高野山小 6 年 津田 晏奈

巳年の目標は、中学校のクラブ、バレーをがんばって先輩達の足を引っ張らないようにしていく事です。私は、昔から球技が苦手なのでついていけるか分からないけれどバレーに挑戦したいです。バレー部には、私の姉や、姉の同級生がいるので、接しやすいと思いますが、もうすぐ入ると思うとすごくドキドキです。私達のクラスは人数が少ないので、クラブに入る人数も少ないです。私達が入った年の三年生が夏の大会で引退したら人数がけっこう減ってしまいます。なので、私もがんばってクラブは楽しいと思ってもらえるよう三年間がんばりたいと思います。

今年の目標



高野山小 5 年 上岡 真比瑠

ぼくは、休み時間に一輪車をしています。

ぼくは、トラックを 10 周も回れるし坂ものぼれます。いつも体育館の横の坂をのぼっています。一輪車に乗って走ると風をうけてとても気持ちいいです。だから、ぼくは一輪車が好きです。6 年になっても一輪車をしたいです。

それから、ぼくは図工が好きです。特に物を作る工作が好きです。今までに、図工の時間にパチンコのような遊び道具を作りました。くぎを打つのがとても楽しかったです。また楽しい工作ができるといいなと思います。

今年もいろいろなことにがんばりたいです。

今年の目標



高野山小 5 年 門谷 樹

ぼくの今年の目標は、野球を一生けん命がんばることです。去年の 11 月に、ぼくは少年野球のキャプテンになりました。

キャプテンに選ばれた時、ぼくにできるかどうか、すごく不安でした。でも、部員のみんなに協力してもらって、がんばろうと思いました。

春の新人戦で、まずは 1 勝して、熱心に教えてくれる、かんとかとコーチに喜んでもらいたいです。そのためには、ま

ず練習を一生けん命して、苦手なバッティングをこくふくしたいです。

キャプテンとしての 1 年間で、くいのないような 1 年にしたいです。

野球



高野山小5年 林 大毅

ぼくたちは、何回か試合に勝ったことがあります。僕が守っている所は、ピッチャーとセカンドです。B級戦は、ピッチャーとファーストとショートとサードを守りました。A級戦は、勝ったことがあるけど、B級戦は勝ったことがないのでこれからがんばります。

ぼくたちは、一人でもいなければ試合に出られないので、11月23日の試合で、全員そろわなかったのできけんしました。きけんをしたチームは、負けてしまいます。何もしていないのに負けてしまったので残念です。

今年は、井上コーチの2番目の男の子が入るので人数が一人ふえます。

その子は、まだようち園なので、どれだけ成長するか楽しみです。

最後に、ぼくの目標は、あまり失点をしないことです。おうえんよろしくおねがいします。

わたしの夢



花坂小5年 中尾 真瑠

わたしは、将来人の役に立つ便利な物を作ることが夢です。なぜなら、わたしの作った物で、みんなに喜んでもらえることができたとしてもうれしいからです。わたしは、小さい時から工作や絵を画くことが大好きでした。だからいろんなアイデアを考えて自然破壊を防ぎ、エコにもつながる物を作りたいです。

例えば、鉛筆は木材を使って作っているの、森林が減少

します。

だから、シャープペンシルみたいな「芯」だけを変えられる鉛筆があればいいと思います。

さらに、ユニバーサルデザインにもつながる物が作れたらとても素敵だと思います。子どもから大人まで、だれにでも見てわかり、使ってもらえるようなアイデア作品を子どもから大人まで、だれにでも見てわかり、使ってもらえるようなアイデア作品を子どもから大人まで、だれにでも見てわかり、使ってもらえるようなアイデア作品を

楽しみだな六年生



富貴小5年 上岡 直也

家族や友達みんなが笑顔で過ごせる年にしたいと思います。

ぼくは、歴史に興味があります。武将をもっとたくさん知りたいです。『戦国バサラ』と言うゲームで武将を知りました。ぼくが知っている武将は、伊達正宗や真田幸村などです。これからは、戦国時代や江戸時代などの歴史に関する本を探して読みたいです。

また、今年は、最上級生になるので、中学年にいろいろなことを教えてあげたり、いっしょに遊んだりして、楽しい思い出をいっぱい作りたいです。

将来は、大工さんになりたいと思います。ぼくは、道具を使って物を作ることが好きだからです。みんなが住みたくなくなるような家を建てたいです。そのために、今まで以上に勉強をしっかりしたいと思います。

これからの目標



富貴小5年 中山 華菜

新年は、楽しく元気な年にしたいと思います。そうするためには、みんなと仲良く遊んだりすごす事が大切だと思います。私は、家族や友達とたくさん話をして、ずっと仲良くすごせる年にしていきたいです。

私は、ピアノをひくのが好きです。ピアノをうまくひけるように、たくさん練習をして聞いてもらった人に、拍手がもらえるようになりたいです。私が今までピアノをやっていた

中で一番大変だったのが六ページのアンブ(暗譜)です。何度も同じ所をまちがえていたので私は毎日部分練習をしました。すると、通してみた時に、今までまちがえていた所がまちがえなくなりました。

その後、先生に聞いてもらったとき、ドキドキしたけれど、まちがえずにひけました。先生に「よくアンブしたなあ。」とほめてもらってとてもうれしかったです。

勉強もピアノもがんばる年にしていきたいです。

巳年生まれのぼく



高野山小5年 林 主鷹

ぼくは、体を動かすのが好きです。だから、家で、九度山世界遺産マラソンや橋本マラソンや万葉の里マラソンなどに行っています。今年は、一位を目指してがんばろうと思っています。

高野山少年野球クラブにも入っています。6年生が卒部してぼく達が最高学年になったので、みんなとがんばっていきます。

あと、勉強をがんばりたいと思います。国語と理科と社会と図工と音楽と作文が苦手です。特に国語と社会が苦手なので、この2つの教科をがんばりたいです。

巳年



高野山小5年 福井 弘輝

今年は、巳年です。ぼくの家族は、お父さん、お母さん、ぼくの三人が、巳年です。

ぼくが生まれてから、今年の巳年が来るまで、いろんな事がありました。うれしい事や楽しい事もありましたが、つらい時は、巳年パワーで乗りこえてきました。だから、今年はなにかいい事がありそうな気がします。

最高学年の六年生になるので、できるかぎり、勉強とスポーツをがんばりたいです。それと、みんなが元気で、仲良く過ごせるような一年になってほしいです。

次の巳年が来るときは、もう大人です。どうなっているか、楽しみです。

今年は



高野山小5年 中部 恵利

今年は最高学年の6年生になります。6年生は、5年生とはちがって行事も多くなり、大変だと思います。でも、その1年を楽しく過ごせるようにしたいと思います。4月から3月まで、何ごがんばらなければいけない行事があるのか分かりませんが、一生けん命、1つずつ確実にこなしていけるようがんばります。

行事では、陸上記録会、修学旅行など、今よりも何倍もいそがしいと思います。だけど、小学校生活最後の1年を楽しく過ごしたいです。それに、児童会にも力を注いでいこうと思っています。

この1年いろいろなことが待ちうけていると思いますが、私なりに1つ1つ、ゆっくり乗りこえていけたらと思います。

アリのよう



高野山小5年 山口 紘生

とうとう生まれた年と同じ巳年がやってきました。いつもの新年よりも特別な気がします。

今年は、小学校の最高学年です。6年生になる事は、少し大人になれたということです。6年生は他の学年を支え、引っ張っていかないとはいけません。僕が1年生の時、6年生はスポーツができ、わからない事は正確にわかりやすく教えてくれました。だから僕も今までの6年生のように、1年生から

心優しく頼もしく見える6年生になれたらなあと思います。

僕の将来の夢は、虫博士です。自然豊かな高野山で僕がそんけいしている虫は、どこにでもいるアリです。アリは、とてもチームワークのよい虫です。いつも仲間のことを考え、えさだってみんなで分けあいます。危険な虫におそわれそうになったら、こわいからといってにげず力を合わせて戦います。僕たちもアリのようになんて協力すれば、けんかやいじめのない学校生活が送れると思います。

そのために、この一年は僕たちが一丸となってみんなを支え、引っ張っていかたいと思います。

生涯学習で人生を豊かに

中央公民館長 中島 紀生

来ませ知識を掬（く）まん君

佐藤春夫作詞の高野町の歌にあるこの一節が私は大好きです。全国から「知識」を求めて訪れる方々をお迎えする町に相応しい公民館づくりが私の夢であります。

年頭に当たり公民館の役割を改めて考えてみますと、まず第一に地域における生涯学習の支援が思い浮かびます。これには、多様な学習機会の提供、

自主的な学習活動の支援、学習成果活用の支援、学習情報提供、学習相談などが含まれ、新しい情報通信技術等の活用なども求められています。第二は、地域づくりやまちづくりの支援で、公民館は地域づくりに関わる活動の支援や地域連帯意識の向上などに寄与することが求められているといえま

しょう。役割の第一で述べた「生涯学習」とは「一人ひとりが、健康で豊かな生活を営むことや仕事に役立つ知識や技術を身につけたり、生きがいのある充実した人生にするために、自分の意思に基づくことを基本として、必要に応じて自分に適した手段や方法を選んで、生涯を通じて行う学習活動」のことです。

生涯学習には、あらゆる学習活動が含まれています。学校で行われている学習はもとより、趣味・教養・資格取得、企業内研修、スポーツ活動、レクリエーション活動、芸術・文化活動、地域づくり活動、国際交流活動、ボランティア活動なども生涯学習に含まれます。

学習の方法には、学校や公民館、民間教育事業等で行われる集合学習形態のものだけでなく、通信教育、テレビ、ラジオ、図書、新聞、インターネットなどを利用して個人で行う学習もあります。したがって、私たちは分野や程度の違いはあるとしても、だれでも既に生涯学習をしているということがお分かりいただけるでしょう。

しかし、なかなか自分が生涯学習を実践しているという実感はないのが実際でありまして、「生涯学習に関する世論調査」によると51%の方が「していない」と答えています。

一方、何らかの生涯学習を一年間に「したことがある」と答えた方々は①自分の人生がより豊かになった②自分の健康の維持増進に役立っている③日常での生活に生かしているなどと答えています。「していない」方は折角の機会を逃しているようで誠に残念です。

その学習内容は①健康・スポーツ②趣味的なもの（音楽・美術・華道・書道・舞踊など）③パソコン・インターネットに関すること④教養的なもの（文学・歴史・科学・語学・社会問題など）⑤職業上必要な知識・技能⑥家庭生活に役立つ技能（料理・編み物など）が上位を占めています。

ではどこで生涯学習をしているかというと「公民館などの公共施設」が第一位となっています。以上をまとめますと、生涯学習は二人に一人が実践しており、私たちの人

生を豊かにしてくれる。そしてその学びの場は公民館が最も利用されているということになります。

さあ、我が公民館の順番です。実は高野町中央公民館では①健康・スポーツ②趣味に関する教室等を開講しており、受講者のみなさんに楽しんでいただいております（広報こうやをご覧ください）。ただし、メンバーが固定化しているという傾向もありますので、もともと受講者が増えサークルの輪が広がっていくよう改善、工夫してまいりたいと思います。

また、昨年実施した大人のサンわく学「弘法大師ゆかりの地を訪ねてin広島」は大変好評で高倍率の抽選となつてしまいました。選に漏れた方、ほんとうに申し訳ございません。今年も新たなテーマで実施予定です。

もう一つ。昨年は新たな試みとして「町民教養講座」を6月から毎月実施しました。これは公民館運営審議委員（社会教育委員）のみなさんに、自ら講座を企画していただくというものです。

ご自分で講師を務めてくださった委員さんであれば、幅広いネットワークで講師を招聘してくださった委員さんもうらっしゃいました。この取り組みが注目され、田辺市で開催された和歌山県社会教育委員研修大会で全市町村を代表して事例発表という栄誉に浴しました。その場で高野町の委員さん各位の熱意とレベルの高さ、試みのユニークさが絶賛されたのは言うまでもありません。

「教え合い学び合う」という新しいコンセプトのもと、他の講座共々、一人でもたくさんの方に参加していただけるよう、さらに内容を充実させてまいります。

第37回 文化表彰式

平成 24 年 11 月 3 日の「文化の日」高野山会館に於いて文化表彰式が挙行政され、今年度文化賞受賞の岡田里明氏に高野町文化協会（徳富義明会長）より賞状並びに記念品が授与されました。

平成24年度 文化賞 陶芸部長として文化協会に貢献



おか だ さと あき
岡田 里明 氏

銀行を退職して数年後の、65 歳（1994 年）から、当時目黒威徳氏が公民館陶芸教室講師の頃より受講生として陶芸に携わってきた。

もともと物を作ることや、絵を描くこと、書道などの芸術に関心が高く、中でも自身の生涯活動の一つとして陶芸に取り組み、大きな作品を主に手がけ、その数は百数十点にもおよぶ。

また、温厚な人柄から公民館陶芸教室のまとめ役として和気藹々とした楽しい教室づくりに努め、初心者への指導も親切丁寧であるとともに、町民文化祭への出展はもとより公民館大会等への出展も積極的に協力した。

平成 8 年より文化協会に陶芸部長として入会、理事を経て、平成 12 年より平成 21 年まで同協会副会長として活躍され、文化協会に貢献するとともに高野町社会教育委員兼公民館運営審議委員をはじめ種々の委員を務められ高野町行政への貢献も多大であった。

一方、第二次世界大戦（太平洋戦争）末期 1945 年（昭和 20 年）8 月 6 日、自らが中学生時代（15 歳の頃）に広島で被爆した体験を後生に伝えるため、高野町内、伊都橋本管内の中学校や公民館などからの依頼で平和学習として講演活動を献身的に行っている。

現在も、文化協会理事として在籍。陶芸教室においては、第一線から身を引いているが、後進の良き相談役としてその存在は大きい。



中央公民館主催 大人のサンわく学

～弘法大師ゆかりの地を訪ねてin広島～



去る、11 月 25 日・26 日に 1 泊 2 日の研修会を実施しました。1 日目は天候に恵まれ、尾道の浄土寺と平和記念公園を見学。

2 日目は残念ながら雨でしたが宮島の厳島神社や大願寺を訪ね、弘法大師と広島との深い関わり

等を高野山大学名誉教授 山陰加春夫先生に解りやすく説明していただき、たくさんの国宝・文化財にふれました。

また戦争の悲惨さをあらためて知り、これからまだまだ戦争の恐



ろしさを後世に伝えていかなければと感じました。

たいへん有意義な 2 日間を過ごしました。